







買出の世にわらわの町

泉引のたれたふ力屋乃  
業代

身体かこへば  
山城小かられたるを  
あ車

あ車

智恵とる所十八の外橋

今乃たふかられた  
三丈ぬといふ

一

浪乃な所本門口乃換

唐文王乃國ハ七十里方ありとや  
 本乃源め色一間方の畠地小橋を  
 家屋敷とあへ樂びん乃ら  
 教乃乃大漆小年越屋乃何  
 高入り乃乃乃小家業乃世  
 と振へは費かざり乃  
 玉糸乃棚とら乃  
 利な世上小見わらひも小つ  
 と突り乃乃乃屋本小色花

か本と改く世萩の振びまに風車ハ十八まけ小植替おかト  
菱文も九ゆれろ袖とゆり海月桶乃とさるるおと葵の植と  
徳目にかろ種れゆひといと悪あらは業ありじり植うた植り  
大本と改くそ家乃目ありこある年紙屋とさるる人あり  
節分乃おと尾乃目此ふはと用ひ一浅づのゆと一皮と  
んぐと方子支揚まで九巻目や種れ物乃ひくまに種り  
お領小幸乃埋ありと物本と物小中まろ入とくめと因  
う改くさあひとまより今風乃夜巻と種と洞へ世乃に改りぬ  
種れ物と種二十人肩と種とわたりと種就仁の角種一お小  
種種一掛種を扱入乃種式からゆとんを多るに大式あり  
白つりくと種を扱よりかささるるありと種小種二費  
と中りあり一は種小せるとあるもた又三世までといと六  
十才歳までと種さるる種けあるあり種と念乃と種り

ひび表尻つくり乃善後とゆめりど子をれりふる中しく  
仁合忠とさ物と善治あり町屋と種と又三世までの目録  
寺乃去む種まで種とまよりやうく種ひつひゆるお丸つれ  
ふとてい夫も棟まうおひひのまに種りまぶあふ各がうりく  
毎日洗ひ種とにひりよりをを山家乃本賣一白種れ出  
入種と高賣ゆおやと種りひり味噴乃とておめく種園中  
おがと川ありありありありありありありありありありあり  
かつた種味と世とせと人か悪おひひの一はと賣とまを  
おり高賣ととはつけぬるいあやうく年く大分金種  
種りて買ととれとさるると種金山のそん種物とめくの  
ごりりおありぬいお屋おやうく三十八費目小人乃種り  
とゆり種にあげと種へ種りやうい町爺乃と種り  
かゝ家善後として種とれはとせいと種り社合ととせ















中三

買進の世乃心やどの時

毎年之日に書進して二十日後たどりたすへ心進よ  
 世よりとりしるに自願し分限しなれど果列場小力の  
 屋さく長保高人多く津の世も心乃かられ里根より  
 進ぬ大令持を教とあしむと時文居酒乃信乃をさく相  
 夜藏先程より代えれりて買進とて内証おあさめ  
 進人とも又寛永年中より年々進今進今より一  
 家とせぬ人も多し又内証十や乃埋入とてお報又十  
 費目も時のお入封乃すかさの進も始縁付内証  
 とりせさくおかり多し人にも外よりいへばいさく内証を  
 さすおのひいし屋も小進めお分限しなれり心とせし  
 乃書進の三費六百目あり一り二十六年のうらおひしりり  
 けい進しとてはせし年々書進いさくして流小のりりり

八百五拾費目其の取一子小より一りさく人せりいさく  
 進分限おあささくおのひいし屋船とていさく入とて糸綿下進  
 おあささくさくお乃進んんと一書と持入ぬりつておあささり  
 らしむと進りしとて人より進め費目つて十人より又拾費目債  
 といさくんとて買進とて進め乃年大分乃計と進く三  
 十の費目よりつけしとてび乃おあささくおひしりりの四書かさ  
 かさりおあささくいさくおあささく書進とて進めんさく  
 さ進く心とつておあささくうら小くさりさるるおあささく  
 おりしと進治しとてささく引あさされおあささくおあささく  
 十乃進めりしとては進めしとてさく一かさぬさく一門乃  
 おあささくおあささくおあささくいさくさくおあささく  
 進めりしとては進めりしとておあささくおあささく



六福竹長女



六福竹長女















大御所御内侍



大御所御内侍

東屋へりしるら武格万ありしは年かては  
も支幣屋をくらうく移りさるの外して  
乃きる終まの終まを乃てしりるらんやう  
さりあり入の望圖りそをめんさるる  
大福をさるあをいれぬ家さるるに  
又の支妻ふもいれぬの捕しふそく  
らひあり愛ふ系乃小山乃星からぬ  
へりしりやじんありそをいれぬ  
ふ小娘ととり又い孫人なる理と  
と娘とるおさるの理とをいれぬ  
りぬは合ありけは八十八とつ  
七も女も一宮十九いま二十六  
ひぬけの文のしきとありぬけの  
ひぬけの文のしきとありぬけの

輕い乃ま小田留半も男女乃りつ  
地り九回お乃世の中あそふ  
と信しんありおぬのくも  
年乃りしめれれけのいけ  
月の竹乃りしめれれけのいけ  
そとよりけのいけれれけのいけ  
と支娘乃りしめれれけのいけ  
と系乃長なけれれけのいけ  
ふとよりけのいけれれけのいけ  
中乃信とく目な人福娘ふ  
人乃らふあをぬけと永代  
辭なり

此係

八二一代名<sub>り</sub>未代

甚忠記

全帙八冊

仁之部

義之部

礼之部

智之部

信之部

二条通達屋所

全屋長共巻

板行仕山

京

書林

貞享五<sub>戌</sub>辰年正月吉日

大坂

書肆

北御堂前

森田庄左郎刊板

